

第89回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間30分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	小 口 現 金	当 座 預 金	売 掛 金
貸 倒 引 当 金	貸 付 金	仮 払 金	備 品
支 払 手 形	買 掛 金	手 形 借 入 金	売 上
固 定 資 産 売 却 益	発 送 費	貸 倒 損 失	広 告 料
通 信 費	固 定 資 産 売 却 損		

- a. 千葉商店では定額資金前渡法（インプレスト・システム）を採用することとし、小口現金として小切手 ¥30,000 を振り出して庶務係に渡した。
- b. /月分のインターネット料金として ¥20,000 を現金で支払った。
- c. 香川商店に商品 ¥895,000 を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送費 ¥10,000 は現金で支払った。
- d. 帳簿価額 ¥2,100,000 の備品を ¥2,160,000 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- e. 茨城商店に対する買掛金 ¥410,000 を支払うために、約束手形を振り出して支払った。
- f. 神奈川商店に借用証書によって、現金 ¥270,000 を貸し付けた。
- g. 得意先西北商店が倒産し、前期から繰り越された同店に対する売掛金 ¥190,000 が回収不能となったため、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ¥250,000 ある。
- h. 従業員の出張にあたり、旅費の概算額として ¥40,000 を現金で渡した。

2

南国商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

4月10日 南国市役所から固定資産税の納税通知書を受け取り、ただちにこの税額 ¥37,000 を現金で納付した。
(伝票番号 No. 21)

〃 日 売買目的で四国中央株式会社の株式200株を1株につき ¥4,300 で買い入れ、代金は普通預金口座から引き落とされた。
(伝票番号 No. 75)

3

関東商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の当座預金勘定と買掛金勘定に転記しなさい。

(2) 仕入帳と買掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、当座預金勘定と買掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1月8日 船橋商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品	400個	@¥280	¥112,000
B 品	500〃	〃〃300	¥150,000

9日 船橋商店から仕入れた商品の一部を返品し、この代金は買掛金から差し引くことにした。

B 品	10個	@¥300	¥3,000
-----	-----	-------	--------

14日 水戸商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

C 品	700個	@¥250	¥175,000
-----	------	-------	----------

21日 東京商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品	500個	@¥450	¥225,000
B 品	360〃	〃〃450	¥162,000
C 品	300〃	〃〃400	¥120,000

27日 船橋商店に対する買掛金の一部 ¥189,000 を小切手#8を振り出して支払った。

次ページに続く

28日 埼玉商店から売掛金の一部を次の小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

HA0008	小 切 手	東京 0701 0914-007
支払地 埼玉県深谷市原郷80		
株式会社 全商銀行深谷支店		
金 額 ¥395,000		
深谷	上記の金額をこの小切手と引き替えに	
	持参人へお支払ください	
	埼玉県深谷市仲町11-1	
	埼玉商店	
令和〇年1月28日		振出人 <u>深谷翔太</u>
振出地 埼玉県深谷市		深谷

30日 水戸商店に対する買掛金の一部 ¥285,000 を小切手#9を振り出して支払った。

4 次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

当期純損益を計算するために、収益と費用の各勘定残高を損益勘定に振り替える。このように、二つ以上の勘定の残高を集めて記録する勘定を という。

1. 人名勘定 2. 集合勘定 3. 統制勘定

- (2) 次の各文の に入る金額を求めなさい。

- a. 徳島商店（個人企業）の当期の収益総額が ¥1,175,000 で、当期純利益が ¥38,000 であるとき、当期の費用総額は ア である。
- b. 愛媛商店（個人企業）の期首の資産総額は ¥3,180,000 負債総額は ¥2,246,000 であった。当期純利益が ¥210,000 で、期末の負債総額が ¥2,546,000 であるとき、期末の資産総額は イ である。

- (3) 栃木商店が販売するA品の商品有高帳は、下記のとおりである。よって、

- a. 栃木商店は、この商品有高帳を次のどちらの方法で記帳しているか、その番号を記入しなさい。

1. 先入先出法 2. 移動平均法

- b. (ア) に入る数量を求めなさい。

商 品 有 高 帳											
品 名 A 品											
単位：台											
令和 〇年		摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/	/	前 月 繰 越	400	750	300,000				400	750	300,000
	15	群 馬 商 店				300	750	225,000	100	750	75,000
	23	高 知 商 店	200	()	154,000				{ 100	()	()
									{ 200	()	()
	28	横 浜 商 店				100	()	()	()	()	()
	31	次 月 繰 越				(7)	770	()			
			()		()	()		()			

5

四国商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項等は、次のとおりであった。よって、

- (1) 決算整理事項等の仕訳を示しなさい。
- (2) 資本金勘定を完成しなさい。なお、損益勘定から資本金勘定に振り替える当期純利益の金額は ¥202,000 である。
- (3) 損益計算書を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 263,000	当座預金	¥1,467,000	売掛金	¥1,300,000
貸倒引当金	2,000	繰越商品	600,000	貸付金	1,600,000
備品	900,000	支払手形	1,200,000	買掛金	1,432,000
前受金	146,000	資本金	2,934,000	売上	10,600,000
受取利息	32,000	仕入	6,390,000	給料	2,070,000
支払家賃	1,440,000	広告料	123,000	通信費	96,000
消耗品費	58,000	雑費	36,000	現金過不足 (借方残高)	3,000

決算整理事項等

- a. 期末商品棚卸高 ¥560,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥1,200,000 残存価額は零(0) 耐用年数は8年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ¥3,000 は雑損とする。

第89回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解答用紙]

1	借	方	貸	方
a				
b				
c				
d				
e				
f				
g				
h				

1 得点		2 得点		3 得点		4 得点		5 得点		総得点	
---------	--	---------	--	---------	--	---------	--	---------	--	-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号

5

(1)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		

(2)

資 本 金		11
12/31 () ()	1/1 前期繰越	2,934,000
	12/31 () ()	
()	()	

(3)

損 益 計 算 書				
四国商店		令和○年/月/日から令和○年/2月3/日まで		(単位: 円)
費 用	金 額	収 益	金 額	
売 上 原 価		()		
給 料		受 取 利 息		
()				
()				
支 払 家 賃				
広 告 料				
通 信 費				
消 耗 品 費				
雑 費				
雑 損				
当 期 純 利 益				

5

得点

第89回 簿記実務検定 3級 **商業簿記** [解 答]

1	借 方		貸 方	
	a	小 口 現 金 30,000	当 座 預 金 30,000	
	b	通 信 費 20,000	現 金 20,000	
	c	売 掛 金 895,000	売 上 895,000	
		送 付 金 10,000	現 金 10,000	
	d	当 座 預 金 2,160,000	備 品 2,100,000 固定資産売却益 60,000	
	e	買 掛 金 410,000	支 払 手 形 410,000	
	f	貸 付 金 270,000	現 金 270,000	
	g	貸 倒 引 当 金 190,000	売 掛 金 190,000	
	h	仮 払 金 40,000	現 金 40,000	

2

入金伝票		No. _____	
令和○年 月 日			
科目	入金先	殿	
摘要	金額		
合計			

出金伝票		No. 21	
令和○年 4月10日			
科目	租税公課 (または固定資産税)	支払先	南国市役所 殿
摘要	金額		
固定資産税の納付	3 7 0 0 0		
合計	3 7 0 0 0		

振替伝票				No. 75			
令和○年 4月10日							
勘定科目	借方	勘定科目	貸方				
有価証券	8 6 0 0 0 0	普通預金	8 6 0 0 0 0				
合計	8 6 0 0 0 0	合計	8 6 0 0 0 0				
摘要 売買目的で四国中央株式会社の株式200株を買い入れ 普通預金引き落とし							

3 (1)

仕 訳 帳

1

令和○年	摘要	元	借方	貸方
/ /	前期繰越高	✓	5,048,000	5,048,000
8	(仕入)		262,000	
	(買掛金)	16		262,000
9	(買掛金)	16	3,000	
	(仕入)			3,000
14	(仕入)		175,000	
	(買掛金)	16		175,000
21	(売掛金)		507,000	
	(売上)			507,000
27	(買掛金)	16	189,000	
	(当座預金)	2		189,000
28	(当座預金)	2	395,000	
	(売掛金)			395,000
30	(買掛金)	16	285,000	
	(当座預金)	2		285,000

総勘定元帳

当座預金

2

令和○年	摘要	仕	借方	令和○年	摘要	仕	貸方
/ /	前期繰越	✓	1,680,000	1 27	買掛金	1	189,000
28	売掛金	1	395,000	30	買掛金	〃	285,000

買 掛 金

16

令和 ○年	摘 要	仕 手	借 方	令和 ○年	摘 要	仕 手	貸 方
1	9 仕 入	1	3,000	/	/	前期繰越	✓ 474,000
	27 当座預金	〃	189,000		8 仕 入	1	262,000
	30 当座預金	〃	285,000		14 仕 入	〃	175,000

(2)

仕 入 帳

1

令和 ○年	摘 要	内 訳	金 額
1	8 船橋商店 掛け		
	A 品 400個 @¥280	112,000	
	B 品 500〃 〃〃300	150,000	262,000
	9 船橋商店 掛け返品		
	B 品 10個 @¥300		3,000
	14 水戸商店 掛け		
	C 品 700個 @¥250		175,000
	31 総仕入高		437,000
	〃 仕入返品高		3,000
	純仕入高		434,000

買 掛 金 元 帳

船 橋 商 店

1

令和 ○年	摘 要	借 方	貸 方	借 また 貸 は	残 高
/	/ 前月繰越		189,000	貸	189,000
	8 仕 入 れ		262,000	〃	451,000
	9 返 品	3,000		〃	448,000
	27 支 払 い	189,000		〃	259,000
	31 次月繰越	259,000			
		451,000	451,000		

水 戸 商 店

2

令和 ○年	摘 要	借 方	貸 方	借 また 貸 は	残 高
/	/ 前月繰越		285,000	貸	285,000
	14 仕 入 れ		175,000	〃	460,000
	30 支 払 い	285,000		〃	175,000
	31 次月繰越	175,000			
		460,000	460,000		

4 (1)

2

(2)

ア	¥	1,137,000	イ	¥	3,690,000
---	---	-----------	---	---	-----------

(3)

a	1	b	200 台
---	---	---	-------

5

(1)

	借 方	貸 方
a	仕 入 600,000	繰 越 商 品 600,000
	繰 越 商 品 560,000	仕 入 560,000
b	貸倒引当金繰入 24,000	貸 倒 引 当 金 24,000
c	減 価 償 却 費 150,000	備 品 150,000
d	雑 損 3,000	現 金 過 不 足 3,000

(2)

資 本 金		11
12/31 (次期繰越) (3,136,000)	1/1 前期繰越	2,934,000
	12/31 (損 益) (202,000)	
(3,136,000)		(3,136,000)

(3)

損 益 計 算 書				
四国商店	令和〇年/月/日から令和〇年/2月3/日まで			(単位:円)
費 用	金 額	収 益	金 額	
売 上 原 価	6,430,000	(売 上 高)	10,600,000	
給 料	2,070,000	受 取 利 息	32,000	
(貸倒引当金繰入)	24,000			
(減 価 償 却 費)	150,000			
支 払 家 賃	1,440,000			
広 告 料	123,000			
通 信 費	96,000			
消 耗 品 費	58,000			
雑 費	36,000			
雑 損	3,000			
当 期 純 利 益	202,000			
	10,632,000		10,632,000	

(貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。)